

～きれいな川をとりもどそう！～ 「生命かがやけ東条川」

加東市立東条東小学校（第10回 環境美化教育優良校等表彰事業 特別賞受賞校）

加東市の東側に位置し、学校の近くには東条川が地域を潤しながら流れる加東市立東条東小学校。

近年では、都市化も進みつつある地域で、利便性も増してきましたが、反面、それゆえの環境破壊・汚染も進んできています。学校のすぐそばを流れる東条川もその例外ではありません。かつてはカジカが鳴き、ホタルが乱舞する清流でしたが、年々汚れを増し、魚種も激減しています。その汚染の主な要因は家庭排水にありました。

ふるさとを潤してきた東条川をこれ以上汚さないようにと児童が汚染防止のために積極的に活動を始めました。後にその活動を受け継ぎ、東条川を軸にした環境学習に取り組むようになり、現在では、学校の取り組みとして総合的な学習の中に位置づけています。



学校の近くを流れている東条川



生物探しや水質検査など独自の授業に取り組んでいます

東条川を軸にした環境学習

東条東小学校では、学校独自のカリキュラムを立て、継続的に取り組めるようにしています。

- ・低学年
「出会う」時期として、水遊びや生物探し
- ・中学年
「探る」時期として、水生生物調べや水質検査、ホタルの生息調査
- ・高学年
「広げる・深める」時期として、川と農業の関係やふるさとの環境問題

このように、低学年の時から東条川と接し、楽しさを味わうことから学習を始め、学年があがるごとにその幅を広げていきます。



研究員の方にお話をしてもらい児童の環境への関心が高まっています

このような段階を踏むことにより、自然な形で児童の中に東条川への関心が高まっていきます。また、学習の一環として「人と自然の博物館」の研究員の方に講師として来校してもらい、お話を聞いたり、実際に川へ行って生物調査などを行っています。

講師の方から自然の大切さなどを教わることにより、様々なことに気づき、将来的にも環境に対して目を向けることができる、広い視野を育んでいます。

PTA活動の一環として始まった 東条川クリーン作戦

PTA活動の一環として行っている東条川クリーン活動は、年に1回、保護者や地域の方々、中学生と連携しながら実施しています。空き缶や燃えるゴミ、燃えないゴミなどを分別して回収し、東条川をきれいにするため参加者一人一人が積極的に取り組んでいます。

活動を通して、学校と保護者・地域との協力関係が深まっています。この協力関係をさらに強くして、他の分野の総合的な学習（福祉・健康等）にも取り組んでいきます。



保護者や地域の方々の協力のもと、児童たちは積極的に川のゴミを拾います

【学校情報】※平成22年1月現在 兵庫県加東市立東条東小学校

◆住所

兵庫県加東市掬鹿谷56番地

◆学校長：田中勲

◆児童数：205名

◆創立：明治9年11月2日

